

Enviro-News from Junko Edahiro

No. 2711 (2019.09.21)

昨日 9 月 20 日、23 日よりニューヨークで開催される、「国連気候アクションサミット (UN Climate Action Summit 2019)」を前に、世界各地で若者たちによる気候変動への緊急対策を求めてのデモ行進 (Global Climate Strike) が行われました。

私は残念ながら、例年のバラトングループの合宿からの帰国日であったため、参加できませんでしたが、以下のようなサイトや動画で、各国でのようすを見ることができます。

<https://globalclimatestrike.net/>

Global climate strike: Millions take to the streets to save the world

<https://www.youtube.com/watch?v=jXXAkt2492c>

How the #ClimateStrike travelled around the world

https://www.youtube.com/watch?v=1cXgCR_dAzA

海外からのニュースレターによると、オーストラリアでの参加者は 40 万人、ベルリン 27 万人など、世界約 150 カ国の 5000 カ所で同時デモ行進が行われたとのこと。

[enviro-news 2683]でお伝えしたように、今年 3 月 15 日には、世界で初めての青少年による一斉気候ストライキが行われ、125 ヶ国の 2083 ヶ所で、150 万人以上が参加しました。今回はそれ以上の規模となります。

3 月のときには、日本では少数の若者が東京・京都でデモを行っただけで、メールニュースでも「学生ストライキ、自治体による非常事態宣言、科学者の支持声明……日本では非常事態を出している自治体もなければ、科学者の支持声明なども聞かれません」と結びました。

でも、今回は日本でも 5000 人以上が各地でデモ行進を行ったとのこと。また、9 月 19 日には、日本学術会議会長談話として「「地球温暖化」への取組に関する緊急メッセージ」が出されています（非常事態宣言を出した自治体はまだありません……）。

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-d4.pdf>

Fridays For Future 有志、グローバル気候マーチ賛同団体有志が昨日出したプレスリリースをご紹介します。ぜひ日本の若者たちの声に耳を傾けてください。

なお、このウェブサイトには各都道府県別の参加者数が載っています。東京では 2800 人もの参加があったのですね！

https://ja.globalclimatestrike.net/press-release/0920/?fbclid=IwAR0hcnT6gLkGg2P0bKYwY2Cz70ZM5M_L8fbfLy0zA4WzxZJDrptq8YfNKPM

~~~~~ここから引用~~~~~

日本の若者たちが主導し気候変動対策を求めるマーチが日本各地で開催  
～23 都道府県で 5000 人以上が参加～

2019 年 9 月 20 日

Fridays For Future 有志

グローバル気候マーチ賛同団体有志

本日、日本国内各地の子ども・若者・市民の有志が、より実効性ある気候変動対策を求め、「グローバル気候マーチ (Global Climate Strike) (注 1)」を 23 都道府県 (注 2) で開催し、数千人が参加しました。

9 月 23 日よりニューヨークで開催される、「国連気候アクションサミット (UN Climate Action Summit 2019)」に先駆けて「グローバル気候マーチ (Global Climate Strike)」は行われました。

現在パリ協定に基づき提出された各国の温室効果ガス削減目標全てを達成しても、持続的な地球環境を辛うじて守ることができる世界の平均気温上昇を 1.5℃未満に抑える目標が達成できないと予測されています。にも関わらず、各国の対策の進捗は遅々と進んでいないことから、同サミットをグテーレス国連事務総長が招集しました。

また、グテーレス事務総長はサミット参加国に対して、2020 年までに新規の石炭火力発電所の建設停止、化石燃料補助金の削減、2050 年までのゼロエミッションの公約を求めていることを理由に、日本を含む石炭を推進し続ける国々が同サミットでスピーチを行う機会を与えない予定だと報じられています (注 3)。

日本での「グローバル気候マーチ」は少なくとも 23 都道府県延べ 27 のイベントが行われました。その中でも東京で行われたマーチが最大級であり、参加者は国連大学から表参道を通り抜け、さらに渋谷駅ハチ公像前を通り、「What do we want? Climate justice! When do we want it? Now! (欲しいものはなんだ? 気候正義! いつ欲しいんだ? 今だ!)」などと呼びかけながら歩きました。

また、東京でのマーチの企画の中心となった学生有志団体 Fridays For Future Tokyo は 9 月 13 日に東京都議会に対して「気候非常事態宣言」の発令を求める要請書を提出しています (注 4)。

9 月 20 日から 27 日の間に、世界 156 ヶ国以上で気候マーチや関連する 5200 以上のイベントが計画されています。今回の「グローバル気候マーチ」の大きな特徴の一つは、インターネットを活用した分散型市民運動だという点です。背景には、ノーベル平和賞にもノミネートされたスウェーデンの高校生、グレタ・トゥーンベリ (16) が始めた気候変動対策の強化を呼びかける学校ストライキの世界的広がりがあります。たった一人で始めたグレタにならい、気候ストライキを始めた若者たちの行動がインターネットを通じて広がっています。

また、子ども・若者たちが始めたアクションに、大人が参加する形となって、国境、セクターを超えて、世界で 73 の労働組合、2500 の企業、820 の団体が賛同を表明しています。日本では、NGO をはじめ 8 つの企業及び 38 団体（注 5）がマーチへの賛同を表明しました（2019 年 9 月 20 日現在）。

昨年 10 月、国連の気候変動に関する政府間パネル（以下：IPCC）は、現在のペースで温室効果ガス排出が続くと地球の平均気温は早くも 2030 年に産業革命前と比べ 1.5℃上昇すると警告しました。また、1.5℃の上昇でも様々な深刻な被害が予測されますが、2℃の上昇と比べて 1.5℃に抑えることで、被害を大きく減らすことができるとも発表しています。

IPCC は人間社会の壊滅を回避するためには、より積極的で革新的な社会の変化が必要であると警鐘を鳴らしています。具体的に言えば、2030 年までに全世界の二酸化炭素排出量を 2010 年の排出量と比べて 45%削減し、2050 年頃に排出ゼロにすることが必須だと結論づけています。

このような事態を受け、海外では政府の行動の遅れに危機感を抱いた若者を中心に気候変動対策を求める団体が次々と立ち上げられています。日本でも、様々なバックグラウンドを持った学生たちが集まり、少なくとも 10 の Fridays For Future（以下、FFF）グループが活動しています。

「僕は気候危機に対して誰もが気軽に行動を起こせる社会を作りたいと思い、FFF で活動しています。環境問題に関心があっても、『何をすればいいかわからない』『同じ思いを持つ仲間がいない』と、行動できない人が多いのではないのでしょうか？しかし、日本中、世界中で気候危機を止めるために頑張っている仲間がたくさんいます。世代や国境を越えて一つになれば、そして、今すぐ行動を起こせば、破局的な結末を防ぐことができます。9/20 のマーチは始まりにすぎません。各国のリーダー達が気候危機を止める野心的な政策を実行するまで共に声を上げ続けましょう。」と FFF 東京の井上寛人（19・大学 2 年）は呼びかけました。

FFF 名古屋の中村涼夏（18・高校 3 年）は、「『Do or Die』今世界では『行動するか』『行動しないか』の二択の選択に迫られています。この FFF に参加するきっかけや目的は人それぞれでしょう。私の目的は『生物保全』です。動物好きな私は SNS で絶えず森林破壊や気候変動が原因で減少していく動物たちのニュースを心を痛めながら聞いてきました。よく耳にするのは海外のニュースです。しかしそんな中、私たち日本も地球温暖化や森林破壊に大きく荷担していることを知りました。他人事のように扱ってはいけません。今こそ国境を越えて行動することが必要なのです。みなさんで美しい未来の地球を残すための Action を始めませんか。」と訴えました。

「関心を持つと持たないとに関わらず、誰も気候変動の影響からは免れない。そんな社会が訪れています。特に影響を受けるのは、現在の若者やまだ生まれていない将来世代です。誰かが気候変動を防いでくれるのを待っているだけでは、手遅れになるでしょう。プラカードを持って、今、立ち上がりましょう。」と FFF 京都の塚本悠平（24・修士 1 年）は述べました。

「僕は気候変動という大きな問題を、地球に住んでいるひとりの人間としての問題、そして解決するためにはもうわずかな時間しか残っていないと危機感を持つ人を増やすために FFF として活動しています。僕は地球が好きです。そしてその地球上で生きている人間が好きです。でも、人間のエゴによる活動のせいでこれ以上破壊されていく地球には住みたくありません。より良い平和な未来のためには今行動する必要があり、大きな組織として日本そして世界のリーダー達がリーダーシップを取ってこの問題の解決に取り組むことを求めます。」と FFF 福岡の阪口真生志（23・大学4年）は述べました。

「今回のグローバル気候マーチは、気候変動対策を求める市民運動が始まって以来、世界全体で史上最大のマーチとなりました。その背景には、もはや気候危機と呼べる危機的状況に多くの人が直面していることが挙げられます。不可逆的な影響を回避するには残された時間は非常に少ないのです。サミットに参加する世界のリーダーたちを始めとするあらゆるセクターの責任者は、化石燃料からの脱却そして自然エネルギー100%へのシフトを含む確実な気候変動対策を求めマーチに参加した何百万人もの人たちの声を重く受け止め、実効性ある対策を早急に打ち出すべきです。とりわけ、日本は石炭火力の新規建設を早急に止め、1.5°C目標に整合する削減目標の制定と実行を確保すべきです。」と NGO 有志代表の 350.org Japan の荒尾日南子（37）は述べました。

日本各地における「グローバル気候マーチ」イベントの写真はこちらからご覧になれます：

<https://drive.google.com/open?id=1z3VApeQ40ZiiNtvJyXUle0iswRKPRhyY>

注：

1：グローバル気候マーチ 特設ウェブサイト <https://ja.globalclimatestrike.net/>

2：23 都道府県（北海道、岩手、宮城、福島、新潟、栃木、東京、静岡、長野、富山、石川、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、鳥取、福岡、大分、長崎、鹿児島、沖縄）

3：Financial Times, September 17, 2019, "Leading countries blocked from speaking at UN climate summit: Secretary-general takes tough line on select coal-supporting nations" <<https://www.ft.com/content/1902158a-d994-11e9-8f9b-77216ebe1f17?segmentid=acee4131-99c2-09d3-a635-873e61754ec6>>

”

4：各地の FFF でも同様の動きがある。FFF 大阪による請願書、

<<https://1lh8ny1lbg6pu98u141qe7a1-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/sites/67/2019/09/Fridays-for-Future-Osaka-%E5%A4%A7%E9%98%AA%E3%81%B8%E8%AB%8B%E9%A1%98%E6%9B%B8.pdf>>

FFF 京都による請願書

<<https://1lh8ny1lbg6pu98u141qe7a1-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/sites/67/2019/09/%E4%BA%AC%E9%83%BD%E5%B8%82%E3%80%8C%E9%9D%9E%E5%B8%B8%E4%BA%8B%E6%85%8B%E5%AE%A3%E8%A8%80%E3%80%8D.pdf>>

、FFF 名古屋による請願書（掲載予定 <<https://www.facebook.com/FridaysforFutureNagoya/>>）。  
5: <https://ja.globalclimatestrike.net/partners/>

\*本件に関するお問い合わせ\*

荒尾 日南子（国際環境 NGO 350.org 日本支部）

Tel: 070-5464-1419 Email: [hinako.arao@350.org](mailto:hinako.arao@350.org)

渡辺 瑛莉（国際環境 NGO 350.org 日本支部）

Tel: 080-5496-4954 Email: [eri.watanabe@350.org](mailto:eri.watanabe@350.org)

\*Fridays for Future について\*

2018 年スウェーデンの女子生徒グレタ・トゥーンベリさんが、「気候変動は人類の生存に対する何よりも重大な脅威であると言い続けていながら、皆これまでと変わらない生活をしているのは理解できません。温室効果ガスの排出を止めなければならないなら止めるべき」と、たった一人で始めた気候危機に対するスクール・ストライキは、世界各国の若者の共感を呼び、今では大きなうねりとなっています。日本でも 5 月に行われた東京でのマーチには総勢 250 人が参加しました。そして私たちは東京、名古屋、大阪などの国内の複数都市で同じように Fridays For Future を立ち上げ活動を始めました。

\*気候危機について\*

産業革命前から現在までに地球の平均気温は約 1°C 上昇しました。たった 1°C の上昇によって既に、人間社会の危機と捉えられるような事象が多発しています。

日本では昨年 6 月&#12316;9 月における熱中症死者が 1518 人となり 1、2019 年 7 月 29 日～8 月 4 日までの間に最多 1 万 8347 人が緊急搬送されました 2

。ヨーロッパではフランスなど各地で 40°C を超える熱波を観測しています 3

。また、1980 年代とくらべ異常気象による気象災害の数は 3 倍と増えており、豪雨や洪水、干ばつなど気候変動に起因する災害による世界の経済的損失は、1998 年から 2017 年の間で 2 兆 2500 億ドル（約 252 兆円）に上り、それ以前の 20 年間に比べて 150% 増加した

4。

#### \*パリ協定と IPCC の 1.5°C 報告書\*

2015 年、国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で合意されたパリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2°C より十分低く保ち 1.5°C に抑える努力をするという長期的目標を掲げ、加盟国から目標値や長期戦略が提出されました。しかしパリ協定に参加する各国が提出した数値目標を達成しても、21 世紀末には 3°C の気温上昇が免れないと予測されています

5. 国連の気候変動に関する政府間パネル（以下：IPCC）は現在の排出ペースが続くと、早くても 2030 年には産業革命前と比べて 1.5°C 上昇すると警告しました

6. 1.5°C の上昇でも様々な被害が予測されますが、2°C の上昇と比べて 1.5°C に抑えることで、被害を大きく減らすことができるとも発表しています 7

。IPCC は人間社会の壊滅を回避するためには、より積極的で革新的な社会の変化が必要であると警告しています。具体的に言えば、2030 年までに全世界の二酸化炭素排出量を 2010 年の排出量と比べて 45% 削減し、2050 年頃に排出ゼロにすることが必須だと結論づけています

9。

#### 注釈

1. 熱中症による死亡者数（人口動態統計）厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121413.html>

2. ”熱中症での救急搬送人数は 1 週間で 1 万 8347 人(2019 年 7 月 29 日～8 月 4 日).”

[news.yahoo.co.jp/byline/fuwarai/20190806-00137236/](https://news.yahoo.co.jp/byline/fuwarai/20190806-00137236/)

3. “All-time temperature records tumble again as heatwave sears Europe.”

[www.theguardian.com/world/2019/jul/25/europe-heatwave-paris-forecast-record-hottest-ever-day](https://www.theguardian.com/world/2019/jul/25/europe-heatwave-paris-forecast-record-hottest-ever-day)

.

4. ”気候変動による災害の経済損失が増加、直近 20 年は 252 兆円に.”

[www.afpbb.com/articles/-/3192938](https://www.afpbb.com/articles/-/3192938).

5. “Global temperatures on track for 3–5 degree rise by 2100: U.N.”

[www.reuters.com/article/us-climate-change-un/global-temperatures-on-track-for-3-5-degree-rise-by-2100-u-n-idUSKCN1NY186](https://www.reuters.com/article/us-climate-change-un/global-temperatures-on-track-for-3-5-degree-rise-by-2100-u-n-idUSKCN1NY186)

6. “Temperatures to rise 1.5 degrees Celsius by 2030–2052 without rapid steps &#8211; U.N. report.”

[www.reuters.com/article/climatechange-ipcc/temperatures-to-rise-1-5-degrees-celsius-by-2030-2052-without-rapid-steps-u-n-report-idUSL8N1WMOJJ](https://www.reuters.com/article/climatechange-ipcc/temperatures-to-rise-1-5-degrees-celsius-by-2030-2052-without-rapid-steps-u-n-report-idUSL8N1WMOJJ)

.

7. "The impacts of climate change at 1.5C, 2C and beyond."

CarbonBrief,

[interactive.carbonbrief.org/impacts-climate-change-one-point-five-degrees-two-degrees/?utm\\_source=web&utm\\_campaign=Redirect#](http://interactive.carbonbrief.org/impacts-climate-change-one-point-five-degrees-two-degrees/?utm_source=web&utm_campaign=Redirect#)

8. "Half a Degree and a World Apart: The Difference in Climate Impacts Between 1.5°C and 2°C of Warming"

<https://www.wri.org/blog/2018/10/half-degree-and-world-apart-difference-climate-impacts-between-15-c-and-2-c-warming>

9. "Summary for Policymakers of IPCC Special Report on Global Warming of 1.5°C approved by governments."

[www.ipcc.ch/2018/10/08/summary-for-policymakers-of-ipcc-special-report-on-global-warming-of-1-5c-approved-by-governments/](http://www.ipcc.ch/2018/10/08/summary-for-policymakers-of-ipcc-special-report-on-global-warming-of-1-5c-approved-by-governments/)

\*\*\*\*\*

◇本メールリストへの登録／登録解除、バックナンバーはこちらから

<http://www.es-inc.jp/lib/mailnews/index.html>

◇メールアドレスのご変更は、上記ページから旧アドレスを「登録解除」いただき、新しいアドレスの「ご登録」をお願いします。一定期間メールが戻ってくる場合には、こちらで登録削除させていただく場合がございます。

<枝廣淳子関連ウェブサイト>

◎イーズ ～つながり、つなげる。しなやかに強く、幸せな社会をめざして

<http://www.es-inc.jp>

◎幸せ経済社会研究所 ～幸せと経済と社会との関係を見つめ直す

<http://www.ishes.org/>

◎東洋と西洋の知の融合研究所 ～東洋と西洋の知の融合を通じて、世界の新しい枠組みを共創する

<https://inst-east-and-west.org/>

◎チェンジ・エージェント ～「変える」メソッドを経営へ

<http://www.change-agent.jp>

◎枝廣淳子の著書・翻訳書 [https://www.es-inc.jp/about\\_es-inc/books.html](https://www.es-inc.jp/about_es-inc/books.html)

※アマゾンのアソシエートプログラムに参加しています。

◎「私の森.jp」～森と暮らしと意思をつなぐ <http://watashinomori.jp/>

-----

◇商用での印刷物・ウェブ上での無断複製・転載はご遠慮ください（ご相談下さい）。

お知り合いやMLへのメールでの転送は歓迎です。

◇このメールへの「返信」は私にだけ届きます。

フィードバックなどをいただけると嬉しいです。

-----

枝廣淳子 [edahiro@es-inc.jp](mailto:edahiro@es-inc.jp)

有限会社イーズ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1丁目19-10 PF 浅草橋ビル5F

Tel : 03-5846-9841 Fax : 03-5846-9665

\*\*\*\*\*